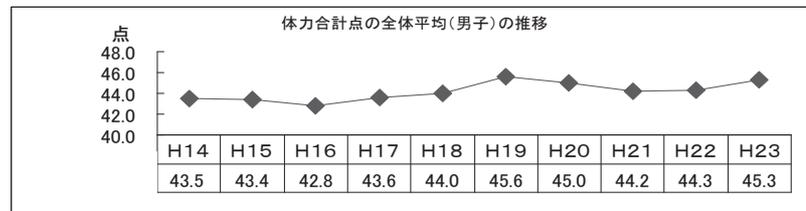


(2) 健康づくり・体力の向上

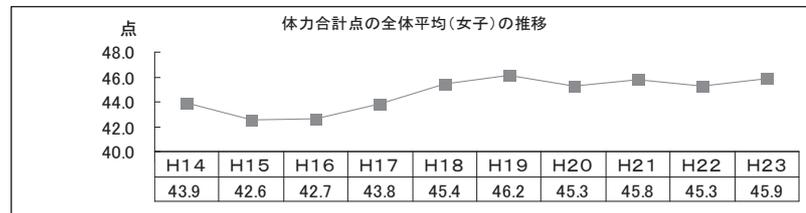
現状と課題

- 子どもたちの体力は、昭和60年ごろから低下し始め、最近10年間を見ると横ばいもしくは若干の上向き傾向を示しています。全国平均と比べると、女子が低い水準にあることや積極的に運動する子どもとそうでない子どもとの二極化が課題となっています。
- 朝食を欠食する児童生徒が1割程度おり、学年が上がるにつれ増える傾向にあるほか、朝食の栄養バランスが不十分であるなど、子どもたちの食生活は依然として改善が必要な状況にあります。また、その保護者世代(30歳代)の朝食欠食は減少していません。
- 平成23年度の中学1年生の喫煙経験率は、男子4.6%、女子2.3%、高校1年生は男子13.3%、女子8.1%であり、中学1年生の飲酒経験率は、男子44.2%、女子40.7%、高校1年生は男子56.2%、女子58.5%となっており、健康についての正しい知識や規範意識を身に付ける必要性があります。

図3-(2)-① 10年間の児童生徒の体力合計点平均点の推移  
全体男子(小学校1年生～高等学校3年生までの合計点)



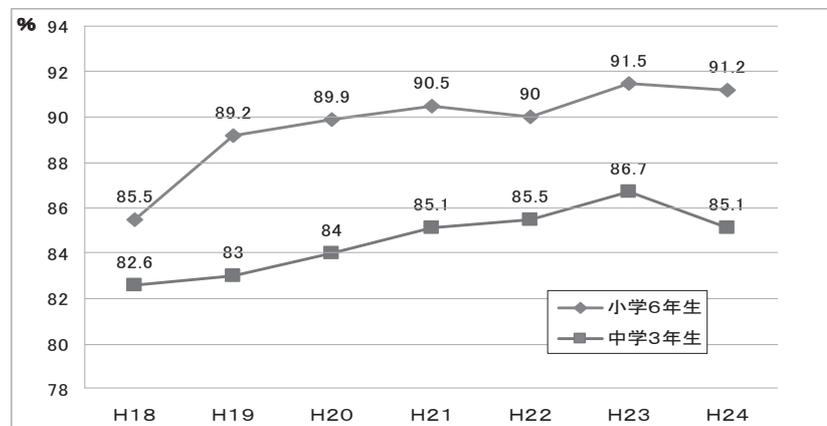
全体女子(小学校1年生～高等学校3年生までの合計点)



※体力合計点は握力、50m走、ボール投げに加え、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、立ち幅とびを点数化して合計

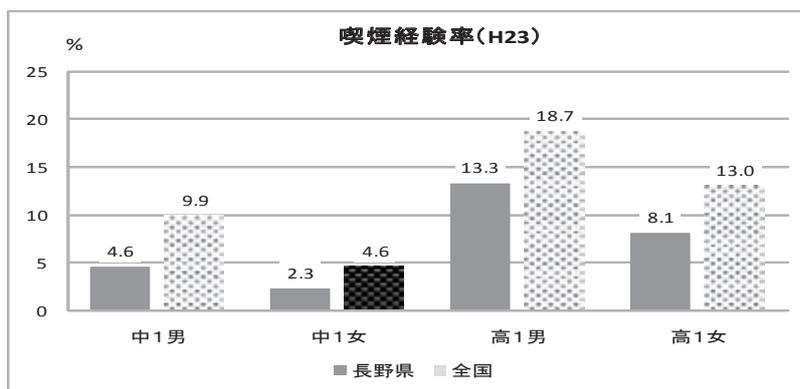
スポーツ課調べ

図3-(2)-② 毎日朝食を食べる児童生徒の割合の推移

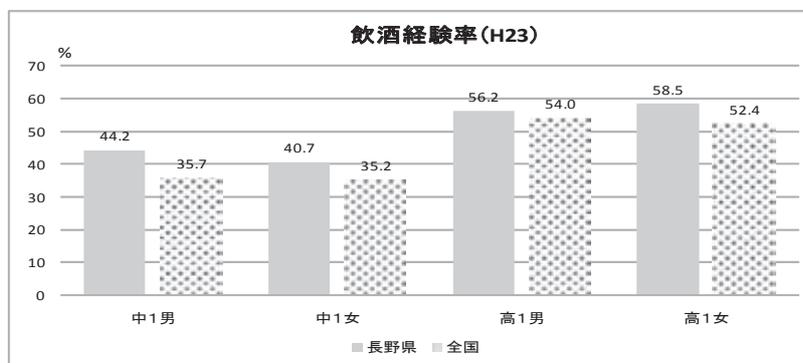


文部科学省「全国学力・学習状況調査」  
(平成18年度は長野県「児童生徒の学習意識実態調査結果」)

図3-(2)-③ 中学生、高校生の喫煙経験率及び飲酒経験率



※ 全国の数値：平成22(2010)年度 未成年者の喫煙・飲酒状況に関する実態調査研究 研究代表者 大井田 隆 教授 (日本大学医学部社会医学系公衆衛生学分野)



※ 全国の数値：平成22(2010)年度 未成年者の喫煙・飲酒状況に関する実態調査研究 研究代表者 大井田 隆 教授 (日本大学医学部社会医学系公衆衛生学分野)

**第1次計画の成果と課題**

- 幼稚園・保育所、小・中学校が計画的に食育を進める体制が整ってきており、今後は栄養教諭を中核にした学校教育活動全体での取組が求められています。
- 小・中・高等学校における体力運動能力テストの結果は、毎年の数値は上昇していますが、全国の上昇率が長野県を上回っており、さらなる体力向上の取組が求められています。

【第1次計画 目標達成見込】			
達成目標	目標値	H23 実績値	達成予測
計画的に食育を進めている小・中学校の割合	100%	93.7%	達成見込み
計画的に食育を進めている保育所・幼稚園の割合	100%	100%	達成見込み
体力運動能力テストの結果で全国平均を上回った項目数の割合 (小・中・高)	38.0%	12.7%	達成困難

**成果目標**

- 運動やスポーツに取り組む子どもが増加して、体力を向上できるようにします。
- 学校における食育が一層推進され、児童生徒が食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けられるようにします。

**測定指標**

測定指標項目	現状値	平成29年度の目標	備考
全国体力・運動能力、運動習慣等調査での体力合計点（数値）	49.1点 （平成22年度）	51点台	文部科学省「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」での体力合計点の数値
全国体力・運動能力、運動習慣等調査での体力合計点（全国順位）	31位 （平成22年度）	10位台	文部科学省「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」での体力合計点の全国順位
毎日朝食を食べる児童生徒の割合	小6 91.2% 中3 85.1% （平成24年度）	小6 93.0% 中3 87.0%	文部科学省「全国学力・学習状況調査」

**主な施策の展開**

子どもたちの健康づくり、体力の向上を推進するために、次のような取組を進めます。

① 長野県版運動プログラムの推進

- 幼児期から中学生期までの成長段階に応じて作成した長野県版運動プログラムが、幼稚園、保育所、学校、地域のスポーツクラブ等で実践されるように推進します。【スポーツ課】
- モデル市町村を指定して、「キッズ運動遊びどこでもゼミナール」等の実技講習会を開催し、プログラムの普及を図ります。【スポーツ課】
- 子どもたちの体力や運動能力向上を図るため、地域社会と連携を図りながら、専門的知識を持つ実技指導者を学校でのスポーツ活動に派遣します。【スポーツ課】



グループで「ケンケンムカデ」

② 幼児期からの運動習慣形成

- いろいろな遊びの中で、体を動かすことの楽しさを感じることができるように、幼稚園、保育所、家庭や地域等で行う運動遊びの取組を支援します。【スポーツ課】

### ③ 運動部活動の適正化の推進

- 中学校の部活動と社会体育活動の果たす役割を明確にする等、生徒の発達段階に応じ適正で効果的な活動を推進します。【スポーツ課】

### ④ 健康保持増進、食育推進

- 食育推進の中核となる栄養教諭の配置を促進するとともに、学校の食育推進計画について地域の食育ボランティア等の協力も得ながら計画的に推進します。【保健厚生課、健康長寿課】



栄養教諭による食に関する指導

- 学校給食が教科等における食育の生きた教材として活用されるよう、献立内容を充実させるとともに、地場産物を活用し、食料の生産や地域の自然、産業等への理解を深め、食に対する感謝の心や健全な心身を育む取組を進めます。【保健厚生課、農業政策課】
- 子どもたちが望ましい食習慣を身に付け、心身ともに健やかに成長できるよう、保育所や幼稚園において子どもたちの食に対する関心を高めます。【情報公開・私学課、こども・家庭課】
- 児童生徒の心身の健康を保持増進するため、健康教育や感染症対策の充実を図るとともに、定期健康診断を実施し疾病の早期発見に努めます。【保健厚生課】
- 未成年者が喫煙、飲酒の弊害等の必要な知識の習得ができるよう、学校関係者や児童生徒への喫煙・飲酒防止研修会や講座の実施、保護者、地域への継続的な普及啓発を行います。【健康長寿課】